

令和5年度 事業報告

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したものの、世界経済は減速感が根強く、物価高、金利上昇、ウクライナ侵攻の継続など、国内外における古紙を取り巻く環境が変化し続ける中、日本の紙リサイクルシステムの維持、古紙品質の維持・向上に向け、古紙品質安定対策事業、広報事業、調査研究事業及び紙の資源リサイクル安定化対策事業を4つの柱として次のおり実施した。

1. 古紙品質安定対策事業

国内での幅広い古紙利用の中、古紙品質の維持向上を図るための事業を実施した。



(1) 古紙品質調査事業（平成24年度から継続）

北海道地区、東北地区、関東地区、中部地区、近畿地区、中・四国地区、九州地区で発生する古紙について、製紙工場において古紙の開梱組成調査を実施した。

地区	段ボール	新聞	雑誌
北海道地区	1工場 2ベール	1工場 2ベール	
東北地区	1工場 2ベール		
関東地区	5工場 10ベール	3工場 6ベール	10工場 20ベール
中部地区	3工場 6ベール	2工場 4ベール	4工場 8ベール
近畿地区	3工場 12ベール	1工場 4ベール	2工場 5ベール
中・四国地区	2工場 4ベール	1工場 2ベール	1工場 2ベール
九州地区	1工場 2ベール	2工場 4ベール	3工場 6ベール

段ボール、新聞、回収雑誌の開梱組成調査の結果は以下のとおりである。

【段ボール】

	段ボール	その他紙 (基準 3%以下)	禁忌品(A+B) (基準 0.3%以下)
令和5年度	97.7%	2.1%	0.3%
令和4年度	97.8%	1.8%	0.4%
過去8年平均 ^注	97.1%	2.3%	0.6%

注) 過去8年平均は、平成26年度～令和3年度の8年間の平均。

【新聞】

	新聞	チラシ	その他紙 (基準 1%以下)	禁忌品(A+B) (基準 0.3%以下)
令和5年度	65.2%	31.6%	2.7%	0.4%
令和4年度	66.3%	31.8%	1.7%	0.2%
過去8年平均	62.2%	35.2%	2.3%	0.3%

【雑誌】

	雑誌	その他紙 (基準 5%以下)	禁忌品(A+B) (基準 0.5%以下)
令和5年度	67.5%	32.0%	0.5%
令和4年度	72.8%	26.6%	0.5%
過去8年平均	63.7%	35.5%	0.8%

(2) 古紙品質情報ネットワークの運用

古紙品質トラブル及び古紙品質情報の報告を全国で実施した。報告を受けた情報は、各地区委員会に報告するとともに全国製紙原料商工組合連合会の会員専用ホームページに掲載を依頼した。

古紙品質トラブルの報告件数は以下のとおりである。

() は昨年度件数

地区	感熱性 発泡紙	臭いの ついた紙	昇華転写紙	ロウ段	その他	計
東北地区					1 (0)	1 (0)
関東地区	4 (1)	0 (2)	0 (3)	14 (9)	1 (5)	19 (20)
中部地区					1 (0)	1 (0)
合計	4 (1)	0 (2)	0 (3)	14 (9)	3 (5)	21 (20)

古紙品質情報の報告は製紙工場での受入れ時もしくは仕込み時の検収におけるもので、報告件数は以下のとおりである(令和5年4月～令和6年2月集計)。

【受入れ時検収】

	感熱性 発泡紙	臭いの ついた紙	昇華 転写紙	ロウ段	その他	計
北海道地区					18	18
東北地区						0
関東地区	1	225	1	205	178	610
静岡地区		1		2	229	232
中部地区		2		2	25	29
近畿地区		20		41	120	181
中・四国地区		3		3	353	359
九州地区		94		53	289	436
合計	1	345	1	306	1,212	1,865

【仕込み時検収】

	感熱性 発泡紙	臭いの ついた紙	昇華 転写紙	ロウ段	その他	計
東北地区		5		36	74	115
関東地区			13			13
静岡地区						0
中部地区		30	21	25	70	146
近畿地区		1		3	7	11
九州地区				5	7	12
合計	0	36	34	69	158	297

(3) 個別古紙品質対策

トラブル報告及び古紙品質報告の際に、臭いのついた紙及びロウ引き段ボール箱の混入防止を呼びかけた。

2. 広報事業

紙リサイクルの促進を図るため、古紙排出時の分別や禁忌品除去に関する事業及び未来の紙リサイクル促進を見据え小中学生を対象とした対面型・オンライン型の啓発事業、紙リサイクルセミナーの実施に取り組んだ。また、『全国小中学生“紙リサイクル”コンテスト』については、応募点数の増加等、さらなる内容の充実を図った。



(1) 紙リサイクル啓発事業

1) 紙リサイクル研修会

ア 紙リサイクル研修会

研修会を対面にて 10 件、オンラインにて 1 件実施した。新型コロナが 5 類に移行し、研修会を再開する自治体があったことから、申し込みが昨年度に比べ増加した。

開催日	開催地	対象者	参加者数	形式	申込団体等
令和 5 年 6 月 6 日	東京都 多摩市	多摩市役所職員、多摩市リサイクル協働組合	12 名	対面	多摩市環境部資源循環推進課
8 月 29 日	宮城県 仙台市	仙台市内の事業用大規模建築物所有者又は廃棄物管理責任者、多量排出事業者、一般廃棄物収集運搬許可業者 等	140 名	対面	仙台市環境局事業ごみ減量課
8 月 30 日	大阪府 堺市	堺市内事業者及びその従業員	169 名	対面	堺市環境局環境事業部資源循環推進課
9 月 21 日	大阪府 豊中市	豊中市内事業者の事業系一般廃棄物管理責任者	20 名	対面	豊中市環境部環境指導課
11 月 17 日	石川県 金沢市	石川県再生資源事業協同組合、金沢市等	13 名	対面	石川県再生資源事業協同組合
令和 6 年 1 月 18 日	奈良県 奈良市	奈良市内の特定建築物又は大規模小売店舗の占有者及び奈良市役所職員	36 名	対面	奈良市廃棄物対策課
1 月 27 日	奈良県 三宅町	三宅町町民	28 名	対面	三宅町まちづくり推進部環境衛生課
2 月 1 日	静岡県 富士市	静岡県内を中心とした紙パルプ関連業務従事者	30 名	対面	富士工業技術支援センター製紙科
2 月 3 日	大阪府 東大阪市	東大阪市再生資源集団回収推進協議会、集団回収実施団体	118 名	対面	東大阪市再生資源集団回収推進協議会
2 月 25 日	東京都 青梅市	青梅市民および青梅市環境美化委員	69 名	対面	青梅市環境美化委員連合会
2 月下旬	石川県 金沢市	オフィス・ペーパー・リサイクルかなざわ会員	動画 配信	オンライン	オフィス・ペーパー・リサイクルかなざわ
実施数:11 回 ・ 参加者数:635 名					

イ 自治体の新人廃棄物担当者向け研修会

古紙回収の促進は全国の自治体の協力無くして行うことは難しいことから、新任担当職員を対象に古紙を取り巻く十分な情報を共有することを目的としてオンラインでの研修を以下の内容にて実施した。

また、多くの方が視聴できるように動画を令和 6 年 3 月までホームページに掲載した。

日時： 令和5年6月2日(金) 14時00分～16時00分

講演： ①「紙リサイクルの基礎知識」

(公財)古紙再生促進センター 業務部業務課 担当課長 濱野 彰吾

②「紙製造・古紙利用の現場から」

レンゴー株式会社 製紙部門生産本部 生産部長 南 裕幸氏

③「古紙問屋・集荷の現場から」

全国製紙原料商工組合連合会 渉外広報委員会 委員長

株式会社斎藤英次商店 代表取締役社長 斎藤 大介氏

2) 紙リサイクル出前授業

主に小学生高学年を対象に、対面とオンラインを併用して実施した。実施数は72件(対面65件、オンライン7件)、参加者は4,769名(対面4,355名、オンライン414名)となり、昨年度に比べ9件増加した。

地区	地区別回数	実施日	対象校等・学年	形式	参加者数
北海道	①	令和5年6月22日	札幌市立新陵東小学校4年生	オンライン	60名
	②	11月18日	函館市立大森浜小学校4年生	オンライン	67名
関東	①	令和5年5月24日	加茂市立加茂南小学校4年生	対面	24名
	②	5月27日	川越市北公民館小学校3～6年生	対面	18名
	③	6月2日	加茂市立石川小学校4年生	対面	47名
	④	6月19日	市原市立牛久小学校4年生	対面	29名
	⑤	6月23日	朝霞市立朝霞第四小学校4年生	対面	97名
	⑥	7月12日	世田谷区立上北沢小学校4年生	対面	101名
	⑦	7月21日	朝霞市出前講座小学校4～6年生	対面	32名
	⑧	8月9日	世田谷区松原まちづくりセンター出前講座小学校1～6年生とその家族	対面	27名
	⑨	8月17日	むさしのエコreゾート出前講座小学校1～6年生	対面	20名
	⑩	8月19日	板橋区立リサイクルプラザ出前講座小学校1～6年生とその家族	対面	21名
	⑪	8月24日	三芳町出前講座小学校1～6年生とその家族	対面	37名
	⑫	8月28日	港区立豊岡児童館出前授業小学校1～4年生	対面	15名
	⑬	9月1日	多摩市立多摩第一小学校4年生	対面	97名
	⑭	9月16日	板橋区立志村第二小学校4年生	対面	75名
	⑮	9月22日	朝霞市立朝霞第二小学校5年生	対面	135名
	⑯	10月17日	坂戸市立桜小学校3年生	対面	58名
	⑰	11月4日	船橋市立西部公民館小学校1～3年生	対面	7名
	⑱	11月14日	足立区立弥生小学校4年生	対面	96名
	⑲	11月25日	船橋市立中央公民館小学生	対面	6名
	⑳	12月23日	むさしのエコreゾート出前講座小学生	対面	20名
	㉑	令和6年1月16日	狛江市立第6小学校4年生	対面	94名

地区	地区別回数	実施日	対象校等・学年	形式	参加者数
静岡	①	令和5年 5月18日	富士市立須津小学校4年生	対面	94名
	②	6月12日	富士市立富士見小学校4年生	対面	66名
	③	6月19日	富士市立富丘小学校4年生	対面	138名
	④	6月29日	富士市立吉永第二小学校4年生	対面	15名
	⑤	7月4日	富士市立鷹岡小学校4年生	対面	96名
	⑥	7月7日	富士市立原田小学校4年セ	対面	64名
	⑦	7月10日	富士市立神戸小学校4年生	対面	35名
	⑧	7月13日	富士宮市立東小学校4年生	対面	88名
	⑨	7月20日	富士市立富士南小学校4年生	対面	160名
	⑩	8月23日	放課後等デイサービスオケピット (中学生・高校生)	対面	18名
	⑪	9月7日	富士市立富士見台小学校4年生	対面	54名
	⑫	9月19日	富士市立広見小学校4年生	対面	99名
	⑬	10月17日	富士市立吉原小学校4年生	対面	95名
	⑭	10月24日	富士市立天間小学校4年生	対面	53名
	⑮	11月22日	富士市立今泉小学校4年生	対面	87名
	⑯	令和6年 3月7日	富士市立吉永第一小学校4年生	対面	65名
	⑰	3月22日	富士市元吉原児童クラブ1～4年生	対面	40名
中部	①	令和5年 6月9日	桑名市立城南小学校4年生	対面	64名
	②	6月27日	名古屋市立西前田小学校4年生	対面	40名
	③	6月28日	名古屋市立千成小学校4年生	対面	58名
	④	6月29日	和歌山市立雑賀小学校4年生	対面	102名
	⑤	6月30日	名古屋市立広路小学校4年生	対面	49名
	⑥	7月3日	名古屋市立東築地小学校4年生	対面	48名
	⑦	7月5日	名古屋市立明倫小学校4年生	対面	55名
	⑧	7月10日 7月11日	名古屋市立滝川小学校4年生	対面	127名
	⑨	7月13日	岐阜市立本荘小学校5年生	オンライン	91名
	⑩	7月13日	名古屋市立大森北小学校4年生	対面	69名
	⑪	7月18日	桑名市立益世小学校4年生	対面	50名
	⑫	7月19日	名古屋市立緑小学校4年生	対面	61名
	⑬	7月25日	江南市小学校1～4年生	対面	12名
	⑭	7月28日	愛知県緑化推進委員会みどりの少年 団小学校1～4年生	対面	224名
	⑮	8月24日	瀬戸市本地地域力向上委員会 小学生	対面	26名
	⑯	9月12日	名古屋市立旭出小学校4年生	対面	82名
	⑰	9月28日	名古屋市立神の倉小学校4年生	対面	92名
	⑱	10月3日 10月4日	名古屋市立瀬古小学校4年生	対面	132名
	⑲	10月26日	美濃加茂市立古井小学校3年生	対面	139名

地区	地区別回数	実施日	対象校等・学年	形式	参加者数
中部	㊴	令和5年10月31日 11月1日	名古屋市立松栄小学校4年生	対面	149名
	㊵	11月2日	桑名市立多度中小学校他3校	対面	99名
	㊶	12月22日	岐阜市立厚見中学校1年生	オンライン	28名
	㊷	令和6年1月19日	東郷町立春木台小学校4年生	対面	65名
	㊸	1月24日	豊橋市立向山小学校5年生	オンライン	72名
近畿	①	令和5年7月8日	伊丹市立稲野小学校土曜学習事業 小学校3～4年生	対面	73名
	②	7月11日	大阪市立東小橋小学校4年生	オンライン	12名
	③	11月7日	香里ヌヴェール学院小学校4年生	オンライン	84名
	④	11月11日	伊丹市立有岡小学校土曜学習事業 小学生	対面	47名
中国 四国	①	令和5年9月13日	高松市立高松第一小学校・中学校 高松みらい科6・7年生	対面	34名
	②	令和6年1月12日	高松市立林小学校6年生	対面	33名
	③	2月15日	東広島市立高美が丘小学校4年生	対面	71名
九州	①	令和5年10月21日	芦屋町教育委員会(あしやハンズ・ オン・キッズ)小学校4～6年生	対面	31名
実施数:72件、参加者数:4,769名(昨年度63件、4,206名)					

3) 地域広報活動

各地区委員会で環境関連イベントの参加など以下の紙リサイクル啓発活動を実施した。中部地区委員会では子供向け小冊子「やってみよう SDGs 紙リサイクルでゆたかな みらいへ」を、九州地区委員会では毎年行っている子供向け「紙リサイクル読本」を作成し配布した。

地区	開催日	開催地	行事名	内容
静岡	令和5年 8月4日	静岡県 富士市	工業技術研究所 フェア	古紙分別回収・禁忌品混入防止の呼びかけ、雑がみ回収用袋・紙リサイクルノートの配布、紙すき体験
	11月10日 ～11日	静岡県 磐田市	産業振興フェア In いわた	古紙分別パネルの展示、古紙分別回収・禁忌品混入防止の呼びかけ、雑がみ回収用袋の配布
中部	令和5年 9月16日	愛知県 名古屋市	環境デーなごや 2023	古紙分別のパネル展示、雑がみ・紙製容器包装に関するクイズ、アンケート用紙の配布等
	9月24日	長野県 長野市	ながの 環境フェア	古紙回収・利用促進のPR、クイズ、アンケート用紙の配布等
	10月5日 ～ 11月17日	愛知県 名古屋市	名古屋市 施設見学会	製紙工場・古紙回収会社等 8事業所の見学会
九州	令和6年 1月16日 17日	福岡県 北九州市	古紙リサイクル バスツアー	北九州市内の小学校2校の小学生5年生を対象に古紙の回収・流通・再生の現場の見学会

4) 紙リサイクルセミナー

会場参加者を緩和し、YouTube でのライブ配信、録画配信を継続して、次のとおり開催した。

日 時： 令和 5 年 10 月 12 日(木) 13 時 30 分 ～ 16 時 00 分

会 場： 星陵会館 会場参加者数 107 名

ライブ配信視聴者数 約 110 名

録画視聴者数 522 名

- 講 演： ① 「紙製容器包装と雑がみの一括収集の取組み～名古屋市の事例」
愛知県古紙協同組合 理事長
株式会社石川マテリアル 代表取締役社長 石川 喜一郎 氏
- ② 「中国段原紙市場の飽和と超生産過剰時代 <今後の古紙需給への影響>」
山發日本株式会社 営業部 兼 統括管理 部長 坂口 健太郎 氏
- ③ 「物流の 2024 年問題における課題と対応」
株式会社NX総合研究所 常務取締役 大島 弘明 氏

5) 啓発資料等の配布

ア 会 報

センターの活動状況、海外の古紙に関する情報等を会報(年 4 回、1,100 部/回)として発行した。

イ 古紙ハンドブック

隔年発行の『古紙ハンドブック 2023』を作成し配布した。

ウ 啓発資料の配布

啓発資料は地方自治体・関係団体等へ提供を行った。

内 訳	件 数
チラシ、パンフレットの提供	78 件
啓発用パネルの貸出し	14 件

エ ホームページ

動画「紙のリサイクルの流れ～排出した古紙、そのさき」の掲載及び統計データ等の更新を行い、情報発信に努めた。

6) 紙リサイクルコンテスト

15 回目となる「全国小中学生“紙リサイクル”コンテスト 2023」は、令和元年度から継続して文部科学大臣賞の交付を受け、また、応募点数の増加のために内容の充実を図り、3,261 点の応募があった。

全国小中学校環境教育研究会をはじめとする教育関係者等による厳正な審査のうえ、文部科学大臣賞や金賞などの各賞を決定した。

文部科学大臣賞、金賞及び特別金賞受賞者を招いて表彰式を以下のとおり開催した。

日 時： 令和 6 年 3 月 2 日(土) 13 時 30 分 ～ 14 時 30 分

会 場： ホテルメトロポリタンエドモント 2 階「万里」

後 援： 文部科学省、全国連合小学校長会、全日本中学校長会、全国市町村教育委員会連合会、全国小中学校環境教育研究会、読売新聞社、全国製紙原料商工組合連合会、日本再生資源事業協同組合連合会、段ボールリサイクル協議会、日本製紙連合会

<文部科学大臣賞>

部 門	学校名・学年	氏 名	作 品 名
作 文	福岡県 明治学園小学校 4年	能美 にな	動き出そう。その先へ。
ポスター	兵庫県 小林聖心女子学院中学校 3年	山縣 志帆	紙資源 ～おかえり『ただいま』～

<金賞>

部 門	学校名・学年	氏 名	作 品 名
作 文	小学生部門 東京都 町田市立小中一貫 ゆくのき学園 大戸小学校 6年	太期 喬士	紙リサイクルについて考える
	中学生部門 愛知県 愛知教育大学附属岡崎中学校 3年	鈴木 歌純	我が家の紙リサイクル
ポスター	小学生部門 北海道 札幌市立資生館小学校 4年	縄 乃々香	未来で花さく 紙のたね
	中学生部門 兵庫県 加古川市立氷丘中学校 3年	太田 楓	紙リサイクルのしくみ

<特別金賞>

部 門	学校名・学年	氏 名	作 品 名
全国製紙原料商工組合 連合会 理事長賞	福岡県 古賀市立古賀東小学校 1年	大嶋 陽葵	かみのまじっく！ (ポスター)
日本再生資源事業協同 組合連合会 会長賞	福岡県 明治学園小学校 5年	野入 桃子	誰もが明日の紙リサイクル博士 (作文)
段ボールリサイクル 協議会 会長賞	群馬県 前橋市立鎌倉中学校 2年	赤井 杏珠	紙リサイクルでぼくたちは 何度でも生まれ変わるんだ (ポスター)

<銀賞>

部 門	学校名・学年	氏 名	作 品 名
作 文	小学生部門 茨城県 開智望小学校 3年	小磯 道允	紙のそつぎょうしきの お手つだい
	中学生部門 千葉県 麗澤中学・高等学校 1年	伊藤 聡玖	世界中にリサイクルマンを
ポスター	小学生部門 埼玉県 坂戸市立桜小学校 3年	徳田 愛子	古紙は新しくなって もどってくる！！
	中学生部門 愛知県 稲沢市立稲沢西中学校 3年	服部 花奈	「紙」は捨てて良い？～ 紙資源リサイクルの可能性

<銅賞>

部 門		学校名・学年	氏 名	作 品 名
作 文	小学生部門	千葉県 富里市立富里南小学校 1年	高橋 実来	しんぶんしはぐるぐるまわる
		福岡県 北九州市立北方小学校 3年	廣田 琴美	私のちょう戦
		東京都 品川区立中延小学校 5年	若原 穂	紙って生き物
作 文	中学生部門	岩手県 岩手県立一関第一高等学校 附属中学校 1年	千葉 夢乃	牛乳パックの行方
		東京都 世田谷区立三宿中学校 2年	中間 正	世界は資源でいっぱいだ
		山梨県 北杜市立甲陵中学校 3年	若田 結良	私の家でできること
ポ ス タ ー	小学生部門	千葉県 船橋市立中野木小学校 5年	須山 柚葵	いつまでも続けよう 「行ってきます」と「久しぶり」
		神奈川県 関東学院小学校 5年	馬場 蒼彩	古紙は捨てないでリサイクル
		愛知県 名古屋市立戸笠小学校 6年	安江 茜里	アイデア次第で 楽しく“紙リサイクル”
	中学生部門	山口県 岩国市立岩国中学校 1年	岡村 心美	発見！古紙の宝箱！
		山梨県 大月市立大月東中学校 2年	天野 羽菜	つながり
		埼玉県 所沢市立狭山ヶ丘中学校 2年	松本 奈津希	リサイクルでうまれ変わる

<学校奨励賞>

部 門	学校名
小学生部門	東京都 荒川区立第三日暮里小学校
中学生部門	広島県 広島市立二葉中学校

7) 未利用古紙の掘り起こし・品質確保等の啓発

禁忌品見本帳を増刷し、自治体(町村)及び古紙を扱っている資源回収業者に配付した。

(2) 紙リサイクル普及事業

1) 顕彰制度

ア 集団回収実施団体感謝状贈呈

各地区委員会から推薦のあった集団回収実施団体(59団体)に感謝状を贈呈した。昭和62年開始から累計で1,180団体となった。

推薦地区	団 体 名
北 海 道	中の島2区第4町内会、弥生町内会、愛宕共生町内会、17条新和町内会、北斗市久根別地区 ひまわり町会
東 北	自得小学校 父母と教師の会、新屋田尻沢町内会、中笹間衛生組合、山形市立西山形小学校、交友会 子供会、今市下区子供会、桜町婦人会、森合東部子供会

推薦地区	団 体 名
関 東	松葉町会女性部、浅草小島一丁目町会女性部、矢頭睦会、よしの自治会、粟田町内会、神奈川県立秦野高等学校、市川南自治会、高浜中学校、正善小学校PTA、青柳ゴミ対策協議会、柴崎第一育成会、栃木県小山市立中小学校、坂東市立七重小学校PTA
新 潟	大鹿3区町内会、鑑西第一自治会、牡丹山第五自治会、白鳥町内会、加茂市立若宮中学校PTA、社会福祉法人 新潟地区てをつなぐ育成会 青山ファクトリー、大形本町第二自治会
静 岡	富士市立新迫町町内会
中 部	下井尻育成会、可児市立中部中学校PTA、徳川一丁目東自治会、原壮会、愛宕サッカー少年団、金沢市立押野小学校、松岡小学校育友会、富山市立大久保小学校育成会
近 畿	クロスタワー大阪ベイ、大阪ひびきの街 ザ・サンクタスタワー、ザ・タワー大阪住宅・賃貸住宅部会、メガシティタワーズ、ビックカーサ堺 しらさぎ駅前
中・四国	ぽこ・あ・ぽこ、興除エンゼル子ども会、灘崎片岡婦人会、しらさ工房親の会
九 州	ガーデンシティ東長崎自治会、広川町立下広川小学校、京ヶ丘第1地区自治会、アーペイン姪の浜マリナステージ子供会、山ノ内校区第3町内 老人クラブ山神会、金田集会所運営委員会、夫婦川町自治会、健軍老壮会松の部会リサイクル

イ 集団回収特別活動賞表彰

紙リサイクルへの貢献とともに活動の目的及びその内容が素晴らしい栃木県小山市立中小学校に対して集団回収特別活動賞を贈呈した。

ウ 紙リサイクル関連団体等表彰

関東地区委員会より推薦のあった関東製紙原料直納商工組合に令和5年5月開催の同商工組合設立60周年の式典において紙リサイクル団体表彰状を贈呈した。

2) グリーンマーク

令和5年度の申請に関しては下表のとおり承認した。

【表示承認】	令和5年度	累計
事業者数	11 事業者 (新規承認事業者6件)	206 事業者
件数	16 件	797 件

【表示内容変更】	令和5年度
事業者数	5 事業者
件数	6 件

3. 調査研究事業

国内の調査については、コロナ禍の影響に伴う古紙発生構造の変化や、各地方自治体におけるリサイクル変化等につき地方自治体古紙関連施策調査を実施した。また、海外の調査については、海外レポートや Web メディアでの情報収集に努めた。



(1) 国内資源化調査

1) 雑誌・雑がみ・オフィス古紙調査

自治体の雑がみ排出区分・排出方法や可燃物の中のリサイクルできる紙量などのデータ収集・整理を行い、古紙問屋における雑誌・雑がみの実態把握のヒアリングを実施した。

2) 地方自治体古紙関連施策調査

地方自治体の紙リサイクル施策等に関するアンケート調査を全市区町村対象に行い、1,172市区町村より回答があり(回答率 67.3%)、その結果を報告書にまとめて地方自治体や製紙・古紙業界関係者等に配付した。

【地方自治体古紙関連施策調査結果の一部概要】

古紙に混ぜてはいけないもの(禁忌品)を冊子やホームページに掲載しているか調査したところ、「掲載している」自治体が 68.8%(794 件/1,154 件)で約 7 割を占めた。

また、禁忌品の対象から外れるとよいと思う紙については、最も多かったのが「紙コップ、紙製パック、飲料用 6 缶パックなどの耐水・耐油・耐酸加工がされている紙」(36 件/192 件)で、その理由としては「排出量が多い」、「紙マークが表示されている」などであった。

3) 新技術に対応した紙リサイクル促進に関する調査研究

リサイクル性の観点で、環境対応の紙・プラ複合素材に関する情報を収集した。また、日本の脱墨試験のJIS化を検討していたが、評価試験の実施が困難となり、JIS 化の必要性を再検討した結果、休止となった。

4) 未利用古紙の回収ネットワーク構築

ウイズコロナにおけるステークホルダーの実情の把握に努めた。

5) 国・地方自治体等の紙リサイクル推進への協力

- ア 紙製容器包装リサイクル推進協議会主催の技術委員会
- イ 包装技術委員会/ISO1860 委員会
- ウ 全国牛乳容器環境協議会
- エ 越谷市廃棄物減量等推進審議会

(2) 海外市場調査

アジア諸国及び欧米の製紙・古紙業界関係者との古紙をキーワードとしたオンライン交流での情報収集を検討したが実施には至らず、海外レポートや Web メディアでの情報収集のみとなった。

(3) 統計調査

1) 古紙統計年報

古紙の入荷量・消費量データを基に古紙統計をとりまとめ、関係各方面に提供した。

2) 国内統計・資料作成

経済産業省紙パルプ統計(生産・出荷・在庫統計、原材料統計)、財務省貿易統計(古紙、紙類、パルプ)等のデータについて収集・整理・分析・加工するとともに、製紙メーカーを対象に紙・板紙の生産量、紙・板紙生産のために要した繊維原料(古紙、パルプ等)などについて調査・集計し、以下の統計をまとめ、ホームページ等を活用し、広く一般に提供した。

- ア 年間古紙需給統計
- イ 古紙需給推移(品種別)
- ウ 紙・板紙向別古紙品種別消費量推移
- エ 古紙回収率推移
- オ 古紙利用率推移
- カ 古紙品種別輸出先別輸出実績
- キ 古紙品種別輸入先別輸入実績
- ク 中国の古紙輸入量(品種別)
- ケ 古紙消費原単位

3) 海外統計

中国造紙協会、欧州製紙連合会、米国森林製紙協会、Fastmarkets RISI の古紙関連統計を収集し、関係各方面に提供するとともにホームページに掲載した。

4. 紙の資源リサイクル安定化対策事業

少子高齢化に伴う人口構造変化、都市集中・地方過疎化、デジタル化が進み、また世界的にはサーキュラーエコノミーを始めとした循環経済推進のうねりが高まる中、国内外の紙リサイクルの中長期的な課題を整理した。

また、業務委員会、国際委員会、家庭紙委員会、各地区委員会においては、紙リサイクル維持等に向けて活発な委員会を開催した。



(1) 古紙余剰対策事業

1) 紙リサイクル維持対策(備蓄事業)

製紙メーカー、古紙問屋、日本製紙連合会、全国製紙原料商工組合連合会をメンバーとする「日本の紙リサイクル維持に向けて」の会議を定期的開催し、古紙需給状況の把握・共有を図った。センターの備蓄事業は実施しなかった。

(2) 紙の資源リサイクル安定化施策事業

1) 海外調査研究

アジアでの段ボール原紙生産の増加・古紙消費の増加が計画されている中、欧米からの古紙の輸出量が減少しており、段ボールを中心とした世界の古紙の輸出入バランスがどのように変化していくのか 2050 年までのシナリオ作りを海外の調査機関とともに作成し、報告書に取りまとめた。

2) リサイクル方法の調査研究

低質古紙の製紙原料以外への利用実態を調査し、報告書に取りまとめた。

3) 紙リサイクルの維持

ア 中長期的・持続的な紙リサイクルの課題整理の取りまとめ

令和 3 年度から創立50周年の節目に向けた中長期的・持続的な紙リサイクルの課題の調査及び地区委員会におけるヒアリング調査、中長期的な紙・板紙生産(内需)及びそれに伴う古紙消費量予測に関する調査、世界の古紙輸出入バランスの 2050 年までのシナリオなどの結果を取りまとめ、「サステナブルチャレンジ 2050」を作成した。

イ 中長期的な紙・板紙生産(内需)及びそれに伴う古紙消費量予測に関する調査

令和 4 年度に取りまとめた紙・板紙の生産品目ごとに統計手法を用いた古紙発生量と回収量、古紙消費量の将来推計について、令和 5 年の数値を反映した将来推計値を作成した。

ウ 地方自治体における紙リサイクルの取り組み等に関する調査

原料としての古紙が全国的に不足傾向にある現状や紙の利用や紙リサイクルの重要性が再評価される動きもある中、古紙回収の一翼を担う各地方自治体の取り組みや意識、現状の問題点などをヒアリング調査し、また古紙の排出者である一般消費者が古紙についてどのように認識しているかなどのアンケート調査を実施し、報告書に取りまとめた。

5. その他の事業

各地区委員会において古紙に関する情報交換、研修会等を実施した。

以 上